

第15回ふくしま ボランティアフェスティバル

～住民力・地域力・がんばってます！ふくしま～

開 催 要 綱

1. 目 的

3月11日に発生した東日本大震災以降、福島県でも県内外から多くのボランティアの支援をいただきました。

現在でも活動が継続しているなか、改めてボランティアの重要性を認識することとなりました。

また、今年はボランティア国際年から10周年にあたり、ボランティア活動に対する期待がたかまるなか、今後も本県では、復興へ向け、ボランティア活動の輪をさらに広げ、ともに支えあう地域づくりを推進するために、本フェスティバルを開催します。

2. 主 催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 共 催(予定)

NHK福島放送局

4. 後 援(予定)

福島県	福島県教育委員会	社会福祉法人 福島県共同募金会
福島市	福島市教育委員会	社会福祉法人 福島市社会福祉協議会
福島民報社	福島民友新聞社	

5. 開催日時

平成24年2月18日(土)

【 式典・記念講演 】 10:00～12:15

【 シンポジウム 】 13:15～15:15

6. 会 場

パルセいいざか

【住 所：福島市飯坂町字筑前27番地の1】

7. 参加者

- (1) ボランティア活動に参加している方、参加したことがある方
- (2) ボランティア活動の推進に関わっている方
- (3) ボランティア活動に関心のある方

など、どなたでも参加できます。

8. 参加費

無 料

9. 日程・内容

時 間	内 容
10 : 00~10 : 35	<p>開 会 式 (ホール)</p> <p>あいさつ 福島県社会福祉協議会長 NHK福島放送局長</p> <p>祝 辞 福島県知事 福島市長</p> <p>功労者等表彰 福島県知事表彰 (個人・団体) 福島県知事感謝 (個人・団体) 福島県社会福祉協議会会長表彰 (個人・団体) 福島県社会福祉協議会会長感謝 (個人・団体)</p>
10 : 35~10 : 45	<p>休 憩</p>
10 : 45~12 : 15	<p>記 念 講 演 (ホール) 【主催 NHK福島放送局】</p> <p>「人と人が支えあう、オラの大好きなニッポン！」</p> <p>講 師 タレント ダニエル・カール 氏</p> <p>1960年米国カリフォルニア州モンロビア市生まれ。</p> <p>高校時代、交換留学生として奈良県智弁学園に1年間在日。</p> <p>大学生時代、大阪の関西外国語大学で4ヵ月学び、その後、京都の二尊院に2ヵ月ホームステイ、佐渡島で4ヵ月文弥人形づかいの弟子入りをした。大学卒業後日本に戻り文部省英語指導主事助手として山形県に赴任し、3年間英語教育に従事した。その後、上京し、セールスマンを経て、翻訳・通訳会社を設立。二十年前からテレビ・ラジオ等の仕事を兼務して現在に至る。</p> <p>好奇心旺盛な性格とバイタリティある行動力そしてユーモア豊かなサービス精神、それに加え3年間の山形での生活で鍛えた山形弁を武器に、ドラマ、司会、コメンテーターなど何でもこなすマルチタレント。</p> 
12 : 15~13 : 15	<p>昼 食 ・ 休 憩</p> <p>※ 2階ホワイエで、福島県授産事業振興会によるSELP製品の販売を予定しています。</p>

時 間	内 容
13 : 15～15 : 15	<p>【シンポジウム】(ホール)</p> <p>「東日本大震災におけるボランティア活動とこれからの 住民生活へ向けたボランティアの関わり」</p> <p>震災発災当初のボランティア活動から半年以上が経過し、被災・避難者の暮らしニーズの変化とともにボランティアセンターも生活支援を中心としたものになってきています。</p> <p>このような中、発災当時から、現在、ボランティア活動がどのように行われてきたかをそれぞれの立場から報告いただき、さらに被災・避難されている住民の生活と共にボランティアとしての関わり方・活動内容等、これから求められるものとは何かを探っていきます。</p> <p>【コーディネーター】</p> <p>○長谷部 治 氏 (神戸市社会福祉協議会 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事) 神戸から5ヶ月間、主に福島県災害ボランティアセンターを起点に各市町村ボランティアセンターを支援いただきました。</p> <p>【シンポジスト】</p> <p>○今野 大 氏 (相馬市社会福祉協議会 次長兼生活復興ボランティアセンター長) 相馬市社協では災害ボランティアセンターを運営してきました。センター長として当時から現在まで、また今後の取組を紹介します。</p> <p>○渡部 正勝 氏 (大熊町社会福祉協議会 事務局長) 避難した会津若松市でのボランティアセンターの活動と避難先での関係機関との連携した取組等を紹介します。</p> <p>○甘南備 かほる 氏 (NPO 法人 ザ・ピープル 事務局長) いわき市社協と連携し小名浜地区で災害ボランティアセンターを運営してきました。NPOと社協の連携方法等を紹介します。</p> <p>○加藤 光一 氏 (連合福島 副事務局長) 連合福島という組織としてどのように今回の震災に関わり・支援活動をしてきたか等について報告いただきます。</p>

10. その他

- (1) 希望する方に昼食の申込みを受付けます。参加申込書の申込み欄に○をつけてください。

昼食代 700円 (税込・お茶付)